## Topics

看護部の紹介

vol.4 2018.9 September

山梨県立中央病院

# 医療連携だより

#### contents

- ・薬剤部の紹介
- ・地域連携研修会の報告と次回予告

ご挨拶

# 人間性豊かな ナースを目指して



山梨県立中央病院 副院長・看護局長

飯野 みゆき

平素より、当院との医療連携に関してご理解とご協力をいただきありがとうござます。

当院は、山梨県の基幹病院であり、高度急性期医療を提供しています。

患者さんが、最良の医療、最高の看護を受け、ご自身の望む場所へ早く帰り生活できることを目指し、チーム医療を充実させ日々努力をしております。

2025年に向け少子高齢化が益々進む中、看護の力を更に発揮することが求められています。

私たちは、看護の力を信じ、元気で明るくそして一人一人を 大切にできる暖かい看護局で、精一杯看護を実践しております。

また、今後もさらに地域の先生方、住民の皆様に信頼されるような病院を目指してスタッフー同頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。





地方独立行政法人山梨県立病院機構出梨県立中央病院

患者支援センター 〒400-8506

〒400-8506 山梨県甲府市富士見1-1-1 TEL. (直通) 055-253-9000/FAX. (直通) 055-251-7733

### 薬剤師が携わる人退院センター

## Support center for patients at admission and discharge with pharmacist



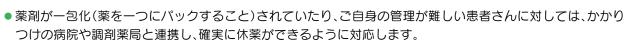
山本 誠一

当院は、患者支援センターが設立されており、地域連携・入退院支援、患者相談、入退院センターの3つの柱で患者さん及びそのご家族の力になれるサポートをしています。その中の入退院センターでは、薬剤師も2016年8月より入院に際し、患者さんが安心かつ安全な治療を受けられるように薬剤に関するサポートに介入しています。現在は、内科・外科に加えて泌尿器科も対応しています。今回これまでの薬剤師の業務内容と活動報告も兼ねてご紹介します。



#### 入退院センターでの薬剤師の業務内容

- ●患者さんから使用薬剤について診療情報提供書やお薬手帳を用いて内容 や使用状況を確認します。場合によっては他の医療機関へ処方薬の内容の 確認を行います。サプリメントや市販薬の使用についても伺います。
- 中止が必要な薬剤がある場合には、写真つきの説明用紙などを用いて中止 期間の説明を行います。



● 患者さんへの説明後、再度別の薬剤師が適切な説明内容であることを確認し、より安心かつ安全な医療の提供を心掛けています。(フォローアップ体制)

#### 10人に1~2人が中止薬の説明を受けています。

#### 入退院センターでの業務フローチャート



#### **Topics**

# 薬剤部の紹介



#### 他部門との連携

患者さんが入院時から迅速かつ適切な治療を受けられるように支援するために、 入退院センタースタッフだけでなく、他部署・他医療機関との連携が欠かせません。 ここではその業務の一部をご紹介します。

#### 1 院内スタッフの連携

- 入退院センターの看護師と情報共有をし、スムーズかつ 適切な薬剤の継続や中止の指示をお伝えしています。
- ●患者支援センターと協力して患者さんが受診されている他の医療機関と情報交換を行うことで、正確な薬剤情報を把握しています。
- 中止が必要な薬剤や期間について事前に医師・診療科 と協議して取り決めをすることで、円滑な患者説明が行 えるよう努めています。
- 患者さんへ説明を行った内容や、入院に際して必要な事項を電子カルテに記録することで、関係スタッフが状況を把握できるようにしています。

#### 2 院外薬局との連携

一包化からの薬の抜き取りなどが必要な際に 患者さんご自身による休薬が困難な場合には、 かかりつけの調剤薬局に事情をお話しし、必要 に応じた支援を依頼する体制をとっています。



#### すべては患者さんの適切な医療提供のために

検査や手術を必要時に適切に受けられる体制構築は、患者さんにとって大きなメリットとなります。そのために病院薬剤師だけでなく、医師・看護師・患者支援のスタッフそして地域の薬局薬剤師とも連携を密に取りながら、患者さんやご家族をサポートし、その負担をできる限り軽減し適切な医療を提供していくことが我々病院薬剤師の使命の1つと考えます。

今後も診療科の拡張に伴い様々な患者さんとの対応が増えていきますが、寄り添った医療の提供をしていく ことで治療に貢献していきたいと思っています。



薬剤部 入退院センター対応スタッフー同

H30年度

#### 「変形性質関節症について」

平成30年4月19日(木)、当院多目的ホール において地域連携研修会が開催されました。 順天堂大学整形外科·運動器医学講座准教 授の石島旨章先生にお越しいただき、変形性 質関節症について講演していただきました。 院外から30名、院内から14名の参加があり ました。

参加者の方からは「痛みによりADL低下だ けでなく、心疾患にも影響すること等、近年の



情報を知ることが できて参考になっ た」「論文も交えな がら具体的でまと まっていてわかり やすかった」等の 感想をいただきま した。

#### 「医科歯科連携 専門的口腔ケアシステムの構築し

平成30年7月12日(木)、当院多目的ホール において地域連携研修会が開催されました。 山梨厚生会・塩山市民病院の多和田先生に お越しいただき、「医科歯科連携専門的口腔 ケアシステムの構築」について事例とともに 分かりやすく講演していただきました。 院内外合わせて50名の方に出席していた だきました。

口腔ケアは急性期から終末期のどの患者 さんにとっても意味のあるもので、在院日数 とも関連があることから、医科歯科連携の必 要性を感じました。



#### 次回研修会

日時:9月26日(水)/ $19:00\sim20:30$ 

場所:山梨県立中央病院 2F 多目的ホール

甲府市富士見1-1-1 055-253-7111

題名:『頚部痛・上肢痛を考える』

~頚部・上肢痛の診断アプローチ~

講師:山梨県立中央病院 整形外科 千野 孔三 医師

当患者支援センターでは院内・院外に向けた連携 のための研修会を今後も定期的に開催させていただ きたいと考えております。その都度ご案内させていた だきますので、ぜひご参加ください。

研修会の情報はホームページでもご案内しています。 併せてご覧下さい。 http://www.ych.pref.yamanashi.jp/

#### 紹介状のある初診患者さんは、患者さんご自身による電話予約や、 かかりつけ医によるFAX予約ができます。

当院では、日頃よりかかりつけ医を持っていただくことをお勧めしています。

体調に変化があったときはかかりつけ医に相談の上、紹介状(診療情報提供書)を持って受診してください。 紹介状のある初診患者さんは、初診の予約ができます。予約をすることで初診はさらにスムーズになります。

#### かかりつけの 医院を受診

紹介状をもらって ください

#### 専用ダイヤルにお電話

以下にお電話ください

#### ☎055-253-7900 お電話前に

9:00~17:00 月~金(祝祭日除く) 準備して ①紹介状②電話診療予約申込書 ③当院の診察券(お持ちの方は)

#### 受診当日

ご予約30分前に総合案内にお越しください

#### お持ちいただく物

- ①紹介状 ②電話診療予約申込書
- ③保険証 ④当院の診察券
- ⑤ 受給者証(老人医療、公費等該当する方)